

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行所 新健康協会
発行人

〒813-0001
福岡市東区唐原6-7-1
TEL:092-661-1531
https://shinkenko.jp

次の御論文は明主様が、昭和二十五年に発表されたものであります。
世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

真理と非真理

昔から真理というものは誰も言うのであ
るが、非真理即ち偽理という事は言わ
ないようである。ところが、あらゆる実
際問題を検討するにあたって、この真理
と偽理との区別のある事を知らなければ
ならない。それによって結果に重大関係
があるからである。それらについていつ
も思う事は、偽理を真理と誤っている事
がすこぶる多いのであって、ただ一般は
これに気がつかないだけである。

偽理と真理は宗教にも、哲学にも、科
学にも、芸術、教育にもある。何事につ
いても偽理は数年、数十年、数百年にし
て崩壊するが、真理は永久不変である。
何か新しいものを発見した当時、世人は

無上の真理と信ずるが、新学説や新発見
が出ていつかは崩壊する事もすこぶる多
い。それと同じように、大宗教といえど
も何百何千年の時を経てから消滅しない
と、誰か保証し得よう。といつても全然
消滅する事もなく、偽理の部面だけが消
滅し、それに含まれている真理の部面だ
けが残される事も勿論で、よし残るもの
はないとしても、それまで文化の進歩に
対し一段階の役割は果たした訳であるか
ら、非難の的とはならない。そうして偽
理であっても、真理に近いもの程長期間
の生命があり、遠いものほど短命に終わ
るのも必然の理であろう。

本当から言えば、この真理と偽理との
正しい判別をする事がその時代の識者ま
たは先覚者の責任であるにかかわらず、
そういう超凡的識見を有する者は至つて
少ないのは事実である。しかしながら、
偽理であっても相当長く続く事もある。
専制政治や封建思想なども、偽理を真理
として扱われた事もある。早い話がムツ

ソリーニのファッショ、ヒットラーのナ
チス、東条の八紘一宇なども誠に短い運
命ではあったが、その当時はそれに気が
つかなかつた事も不思議である。このよ
うに、偽理であっても一時はその民族を
して真理と思わしめ、生命をまで軽く扱
われたのであって、このような錯覚のた
め犠牲となり終わった数多くの気の毒な
人達を、我等の記憶にまざまざと残つて
いる。全く偽理の恐ろしさが知らるるの
である。

偽理と真理については、宗教に多い事
も見逃せない事実である。郡小幾多の宗
教が出でては滅び、初期は華々しいもの
であっても、短命に終わり跡形もなくなつ
たものもあるが、全く偽理宗教であつた
からである。

故に真理同様の価値ある宗教である限
り、一時は強力なる圧迫を蒙るといえど
も、いつかは必ず起上がり大宗教となる
事は、現在ある大宗教をみても頷かるる
であろう。

浄霊体験記

- ノイローゼ・動悸 浄霊に出会い一変
- コロナウイルス陽性 二週間で楽に
- 薬が手放せない… 不安の日々から救われる



浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

ノイローゼ・動悸 浄霊に出会い一変

周南支部
東佳子^{ひがしよしこ} (52)



私は物心ついた時から首と肩と背中の痛みと凝りが強く、何をしても楽しいと思ふことはありませんでした。何もやる気のない子供で、夜寝る時も眠るまでに二時間程かかり、頭に浮かぶのは心配事ばかりでした。そして、動いている間や食事の後は沢山のヌラが口の中に溜まってきていました。

中学校に入り部活動を始めると、体が簡単に三キロ落ちました。これはチャンスと思い自己流でダイエットを始めました。するとすぐ生理が来なくなり、また、あれだけ出ていたヌラも出なくなりました。最初は大丈夫かなと思いましたが、生理やヌラが出ないのは楽だったので、誰かに相談するこ

ともありませんでした。それから体の調子が良くなったので、毎日腹筋運動などもするようになり、そのうち痩せていくことが楽しみになりました。

しかし高校二年生くらいから頭、首、肩、背中が凝り、痩せているのに、体の中に何かがぎゅうぎゅうと詰まって逆に膨張しているような感じがし、頭の中も同様で息苦しさを感じるようになり、何をしてもこの状態は解消出来ず、先の見えない状態でした。しかし、せっかくなのでここまで頑張ったダイエットしたのだから、「もう元の体重には戻りたくない」という強い気持ちが残っており、心の中はぐちゃぐちゃでノイローゼのような状態になっていました。

高校三年生の時、あまりに凝りがひどいため高校の近くにあった整体に通い始めました。整体師から「首からお尻までの筋肉が縮んでいて一生良くなったり悪くなったり繰り返してす」と言われ、絶望的な気持ちになりました。治療法は電気治療とのこと、電気治療をすると一瞬だけ軽くなるのを感じたので、それから毎日通うようになり、結局は良くなるどころか一層凝りが強くなり、階段を上る時は腰を九十度に曲げないと上れない状態になりました。

また、ある日の夜、急に激しい動悸が打ち始め、家にいた祖父が心配し、薬を一粒くれました。それを飲むと動悸がピタッと止まりましたが、あまりの効き目の良さに反って恐ろしさを感ずりました。念のため両親が病院に連れて行ってくれましたが、異常は見つかりませんでした。しかし現実には「死んだら楽になるだろう」と思える程で、言葉では表せない程の不安を抱えたまま四月に就職しました。

一杯で、帰宅するとすぐ横になっていました。その頃、私の母が勤めていたスーパーに新健康協会の会員さんがおられ、私のことで悩んでいる母に協会のことを教えてくれました。早速両親と三人でその方の家に行き、浄霊を受けました。すると翌朝何年も味わって

いなかった目覚めの良さを感じました。驚いた私は、その後支部で浄霊を受けようになりました。浄霊を受けると、急に後頭部から何かが流れ落ちてきた感じがして、鼻水が出そうになりました。今まで風邪以外で鼻水を感じることもなかったので驚きました。しかし、支部の方から、「鼻水が出たら、頭がスッキリしますよ」と言われ、鼻をかんでみると、今まで感じたことのない程スツとする気持ち良さを感じました。そのことを伝えると「汚いものが体から出た分だけは体の中がキレイになる」と教えていただき納得が出来ました。それと同時に、なぜ今までこんな単純なことに気づかなかつたのだろうと思ひ、この方法で元気になるかも知れないと思ひました。

明主様が助けて下さった

浄霊を受け始めて一週間後、階段を上り終えた時にいつもと違う感じがし、立ち止まってよく考えると、腰を九十度に曲げなくても階段を上れていることに気がつきました。あれだけ整

体に行っても悪くなるばかりだったので、浄霊を受けると一週間で体を通す直ぐにして階段を上れました。やがて、浄霊を受けると欠伸が出て鼻水が出るようになったのですが、そのおかげで、よく眠れるようになりました。

「体力のある人は汚いものを体から押し出す力がある」と教えてもらい、結局私は食事をろくに取らなかつたため体力が落ち、生理もヌラも出ず、体の中に汚いものを何年も溜め放題にしてきたのだと思います。そして、入会すると家でも浄霊を受けることが出来ることだったので、昭和六十三年七月に入会しました。おかげ様で毎日のように浄霊を受けることが出来、生理も徐々に始まりました。

実家にいた六年間は胸が苦しく一日中、動悸が打ち続ける体でしたが、ほとんど寝込むことなく仕事をすることも出来ました。また仕事で激しく動悸が打つても御守護をお願いをさせていたでくとすぐ楽になり、仕事を続けることが出来ました。その後、後頭部が常に脈を打っている状態も良くなり、肩や背中に鉄板が入っているような硬さだとよく言われていましたが、肩が柔らかくなるにつれ動悸も良くなりました。また、私は利尿効果のあるお茶を飲み出してから急激に体重が落ちたと同時に、体力も急激に落ちたことがあったので、そのお茶は怖くなつてやめたのですが、今度は逆にお小水が出なくなり、一時は浮腫みもありました。しかし、これも浄霊を受けると徐々にお小水の量が増え、普通に出るようになり、また、支部で掃除等のお手伝いをさせていただけと、だんだんと体調も良くなり、心の安定と充実感もありました。

私が好き放題やった結果、いつ倒れたり、心臓麻痺になったり、自殺したりしていてもおかしくない状態でしたが、明主様はそんな私を助けて下さったと感謝しています。

約六年前のことですが、左足の向こう側が急に痛くなり、だんだん足首から足の甲まで赤く腫れだし、少し動

かしただけでも激痛が走ることもあり、歩くのもつらい状態でしたが、浄霊を受け、御守護をお願いをさせていたでくと二日程で激痛は治まりました。その一年後、今度は右足が同じように腫れました。激痛でしたが、左足の時より痛みも軽く、御守護をお願いをさせていたでくと一段と軽くなり、この時も仕事にほとんど支障がありませんでした。

私はこの協会に御縁があったおかげで命の継ぎ足しをいただきました。それだけでなく結婚をして子供を産み、育てることも出来ました。

入会してから約三十年、どんな状態の時もいろんな人に助けられ、振り返ると幸せな境遇であったと感謝しております。一人でも多くの方が一日も早く浄霊で救われることを願っております。

明主様、誠に有難うございました。
(山口県周南市)

浄化作用ってどういうこと?

人間には体内の毒素を排除して健康を促進しようとする動きがあります。

例えば、カゼの場合、蓄積してきた不純物や体外から入ってきた毒素を浄化するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが出て体の中が掃除され、霊・体共に清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、体の不調和を調和させる大切な清掃作用でもあるのです。

コロナウイルス陽性 二週間で楽に

南フランス出張所
リュポ・フロール (21)



私は産まれた時から浄霊を受けています。いつも病気になるのと浄霊を受けることによって元気になる、医者にかかることなく過ごしてきました。

そのため、今回コロナウイルスに感染をした時も浄霊に頼り、元気になることが出来ました。

最初はコロナの症状と言われるものは何もありませんでした。しかし、夜中にとっても頭が痛くなり、一晩中痛み続けました。痛さのあまり、その晩は三時間程しか寝ることが出来ませんでした。翌朝頭痛はまだあり、しゃがむと眩暈がしました。疲労感がひどかったのですが、あまり睡眠を取れていないことからすると当然の様に思えました。一番不思議だったのは、目を上下左右に動かすと目に激痛が走り、頭も眉毛の辺りも痛みました。

三日から四日間は頭、目、首筋と肩が痛かったのですが、風邪の様な症状は全くありませんでした。私はとても疲れておりましたので、目からは勝手

に涙が流れていました。

その後、軽い風邪の様な症状が現れました。目の痛みが一番不自由で、疲れと頭痛のせいで、ただ寝ていたいと思うばかりでした。私は毎日一回は浄霊を受け、一番ひどい時は一日に二回浄霊を受けました。

二週間目に入ると少し状態は良くなりました。目の痛みも和らぎ、冬に少し体調を崩した時のような疲れが少しあっただけです。コロナの症状とは違ったので、始めは副鼻腔炎のようなものかと思っていました。しかし、突然嗅覚と味覚が完全になくなりました。何の匂いもしなくなり、味も全くなりませんでした。その時始めて、きっとコロナにかかったのではないかと思いました。母が薬局に検査キットを買いに行き調べてみると、結果は陽性でした。

しかし浄霊を受け続けると、一度一週間で嗅覚と味覚は戻りました。その後も続けて浄霊を受けると、他の風邪の症状と同様に、二週間が経つ頃には風邪の状態もなくなりました。私はコロナに感染したからといって、一度も心配をしたことはありません。浄霊を受け、それで少しずつ良くなって行くのを感じていたからです。浄霊を信頼し、コロナとは一種のインフルエンザの様なものだという認識でしたので、心配することはありませんでした。

同居している家族も感染せず

私はこの時、大学の期末試験を控えていましたので、そろそろ勉強に取り掛からないといけないと思っていました。掛からないと勉強が出来るか心配でした。しかし、明主様のおかげで試験

勉強に取り掛かる前に、浄化作用によって沢山の毒素を出すことが出来、丁度試験に間に合うように元気になることができました。心から明主様に感謝申し上げます。

最後に、濃厚接触者とも言える同居している家族のものは、誰ひとり感染していませんでした。

コロナのように一般的には大変騒がれているような状況でも、浄霊は安心して楽になるという確信を与えてくれます。明主様と浄霊に、心より感謝申し上げます。

有難うございました。

(フランス・南フランス)

薬が手放せない…

不安の日々から救われる

福岡支部
A・M (67)

昨年の一月中旬、私は頭が上げられないほどの激しい頭痛に襲われました。協会の支部に電話をして、どこを浄霊したら良いかを伺いました。すると、浄霊の場所と、頭痛は頭の毒素を溶かして体外に排泄させていただく大切な浄化作用ということを教えてくださいました。電話の後、教えていただいた箇所を自分で浄霊をすると、とても楽になりました。あれほど頭が痛くて起き上がれなかったにもかかわらず、翌日には支部にお参りできるようになったのです。短い期間で楽にならせていただいたことにとても驚きました。そして、その頭痛がよくなったので

来、体全体がとても元気になったので

す。

私は若い頃から頭痛持ちで薬が手放せなかったため、二〇一七年より、協会の会員である姉から浄霊を勧められていました。はじめはそのような気持ちになれませんでした。しかし、膝の痛みで悩んでいる時に「一度試してみよう」と思い支部を訪れました。すると、協会の方から、薬の恐ろしさや病気を体掃除する浄化作用と話をし、浄霊で薬を浄めていただくと健康になれると教えていただきましたが、私にとっては、とても信じられない教えでした。

しかし、一度浄霊をいただくと、膝の痛みがスッと楽になったのです。今までの「痛みは何だったのだろう」と愕然するほどの変化に感激しました。そして、ほとんど毎日浄霊を続けてみますと、毎日に足取りが軽くなっているのに気づきました。はじめは、最寄りのバス停から支部まで何度か休憩しないと膝が辛くなっていたのですが、今ではそのようなこともなく楽に歩けるようになりました。浄霊をもっと体験して、健康の真理について深く知りたくなりまして、二〇一七年に入会しました。

その翌年、夫が夜中に発熱する日が続き、膀胱の辺りが痛み、お小水が出にくいことがありました。夫も一緒に協会に通い、続けて浄霊を受けると、楽になりました。仕事もできるようになりました。その後、夫も入会しました。家庭でもお互いに浄霊が受けられるようになりました。

現在でも時折、頭が痛くなることもあります。支部や自宅で浄霊を受けると楽になります。協会にご縁をいただくと前のように頭痛薬を飲むこともなくなりまして。

若い頃から頭痛薬を手放せず、薬の

効用が切れたらどうしようかと不安の日々を過ごしておりました。しかし、健康になるための必要な浄化作用であることを知り、浄霊をいただくと楽になりますので、本当に心から救われています。

明主様、誠に有難うございました。
(福岡県福岡市)



浄霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。まずは試されてみてはいかがでしょうか。

芸術を楽しむ理由

美の殿堂へ

4 vol.

聖地に美の世界をつくる
新健康協会が伝えたい
芸術鑑賞のススメと
楽しみ方について



『晴明会館』は、教祖・明主様(岡田茂吉師)を信仰する新健康協会の聖地に「美の世界」を実現する信念のもと、1987年(昭和62年)に開館いたしました。

当館には、江戸時代に大活躍した浮世絵師、葛飾北斎や歌川広重の名作を多数収蔵しております。

その中の代表作は歌川広重の「名所江戸百景」。江戸時代の庶民に安らぎを与えるだけでなく、西洋印象派の巨匠ゴッホやモネなどにも強い影響を与えたといわれています。モネの作品に強く影響を与えたことでも有名な「亀戸天神境内」をはじめとする名作の数々は、当館の重要な所蔵品となっております。

江戸時代、庶民も楽しめる娯楽として爆発的に広まった浮世絵。肉筆画にはじまり、木板を用いた鮮やかな多色摺りの技法によって大きく発展しました。江戸の庶民の心をとらえ、海外の美術愛好家を驚かせた日本の伝統的な美の感性が一つひとつ秘められています。

浮世絵ならではの日本文化の素晴らしさを伝え、拝観された方々に喜びや安らぎをもたらすことのできる美の殿堂を目指してまいります。

手に入れたのは

健康な心と

健康な体

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする事ができます。

いのうえさんこう
井上三綱

《古事記》

福岡県出身の洋画家、井上三綱は『古事記』を「日本民族が生んだ浪漫である」といいます。本作はそんな井上が『古事記』に登場する六つの神話を屏風絵として制作したものです。左

に伊邪那岐命・伊邪那美命、右隻には禊ぎ祓いと三貴子誕生、天の安の河の誓約、根の堅州国と天詔琴、そして右隻右端には海の神であるわたつみの宮を訪れる火遠理命(山幸彦)の場面が選ばれています。

井上は明治三十二(一八九九)年、八女郡矢部川の堤防に隣接する竈門神社の神官を務める家に生まれました。しばらく地元で教員生活を送っていましたが、大正十(一九二一)年、横浜市内の尋常小学校に移り、関東で本格的に画家として活動する足場を固めます。ただしその後も、特に師と仰ぐ坂本繁二郎がヨーロッパから帰国し筑後地方に住むようになった大正十五(一九二六)年頃から、指導を受ける

ためにしばしば帰郷していたようで、筑後の所縁や風物に対する思いは生涯持ち続けていました。

また、井上が尊敬する筑後の洋画家には、もう一人、青木繁という大きな存在があります。青木の画業の中心に据えられていたのも、古事記や異国の神話を題材にとったものでした。青木への共感からか、本作の山幸彦はまるで青木の《わだつみのいるこの宮》を取り込んだような構図になっていますし、画面全体に事物の輪廓を振動させるような赤い線がのぞくところも影響を感じさせます。

古事記や万葉集といった古代文学に終生関心を寄せていた井上ですが、本作が生まれたのは昭和十八(一九四三)年、信州発の温泉に滞在した際、朝日に照らし出された日本アルプス連山の神々しい景色を目の当たりにしたことがきっかけでした。「私はこういう情景を、この日一日だけ、かいま見たのであるが、感動は心に深く焼きつけられ、実感として古事記の初源に触れ得た思いがした」と語っており、それは古事記の世界の豊かさを絵画表現にまどめるアイデアの啓示を受けるような体験だったのでしよう。

それから約一年かけ、昭和二十(一九四五)年に完成させました。生と死の根源、創造の根源に触れるような気持ちで制作に挑んだに違いありません。

解説 松田愛子



《古事記》右隻

晴明会館

「背景に九州」後期展
期間・1月7日(金)～5月18日(水)

※晴明会館お問い合わせ ☎092(661)1535

健康新聞についてのお問い合わせは
(092)661-1531まで